



診療科概要



当科関連動画

関係医療機関へのメッセージ

臨床工学技士※略称CE (Clinical Engineer) は医療機器の専門家集団であり、且つ救急・透析・集中治療・手術室等の臨床分野でも「緑の下の力持ち!」として各種業務に取り組んでいます。

【スタッフ構成】

- 臨床工学技士:23名(♂16名・♀7名)
- 事務員:2名 ●ME機器保守委託業者:1名



MEセンター(医療機器管理)業務

院内の医療機器の情報は独自のシステム「匠」を開発し、主にMEセンターにて情報管理を行っています。

登録されている医療機器は3,700台以上あり、医療機器の”電子カルテ”として機能しています。

可能な限り、メーカーの講習を受け、医療機器の保守作業を行い、保守費用の削減と期間短縮に貢献しています。

※保守作業とは専門的な点検や修理作業のことを言います。

また、高度な医療機器が集中する手術室には専任の臨床工学技士を配置し、医療機器の安全稼働とトラブルへの迅速な対応を心がけています。また、2023年からはロボット支援下手術も開始され、手術関連機器安全管理責任者(臨床工学技士)が手術支援ロボットの導入期から運用管理まで中心に行っています。

臨床分野の業務

●ICU業務:医師の指示の下に人工呼吸器の点検・管理・設定変更、急性期の血液浄化療法、更にはECMO装置等の補助循環装置の操作・管理を行います。24時間365日、チームの一員としてICUの診療支援に携わります。

●血液浄化業務:慢性維持透析患者さんをはじめとする、各種血液浄化療法に使用する装置の操作を行うとともに、他スタッフと連携して患者さんの治療を行います。

●腹水濾過濃縮(CART)業務:難治性腹水患者さん等の貯留した腹水を採取し、専用の装置、フィルターを通して濾過・濃縮します。濃縮された腹水は蛋白製剤として患者さんへ返されます。(※開業医の適応患者さんにも対応します。)

●心臓カテーテル業務:冠動脈疾患、心臓弁膜症に対して行うカテーテル検査および治療において検査寝台、ポリグラフ装置、血管内超音波装置等の操作を行い、重症例では補助循環装置の操作も行います。また、2022年からは検査時に清潔野での医師介助も行っています。

●不整脈治療業務:カテーテルを用いたアブレーション治療に使用する、3Dマッピング装置、カテラゴ装置など関の操作を行います。

●植込みデバイス業務:心臓ペースメーカー、植込み型除細動装置などの植込み型デバイスの新規植込みおよび交換手術にて医師の指示の下に、デバイスの測定、設定を行います。

また、定期的な遠隔モニタリング(インターネット経由でのフォローアップ)、通院外来フォローアップへの立合いを行い、必要に応じて医師の指示の下に設定変更等を行います。

●人工心臓(手術室業務):心臓手術時の人工心臓装置の操作を行います。

●スコープオペレーター業務:内視鏡手術にて術野を映し出すカメラを操作し、医師が手術しやすい映像を提供します。



ICUで



手術室で



血液浄化室で



心カテ室で



MEセンターで

医療機器あるところにCEあり!